

# 児童発達支援ガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月  
結果公表日:2025年3月27日

## 回答率

事業所職員: 5名回答、回答率 100%  
保護者様: 29名回答、回答率 80%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・構造化を意識して、個別課題対応実施スペースと全体課題実施のスペースを分けている。
- ・視覚的に刺激になるものは、訓練室に置いたり貼ったりしないようにしている。
- ・パーテーションを配置し、必要に応じて個別の部屋を作れるようにしている。
- ・安全に子どもたちを見られるように利用者の配置や支援内容を工夫している。

### ○業務改善

- ・ミーティング時に意見を出し合うことができている。
- ・Web上で受講する研修を行っている。

### ○適切な支援の提供

- ・毎日1時間以上全職員でミーティングを行い、ミーティングの中で職員が意見を出しながら活動プログラムの立案を行っている。
- ・前日のミーティングの中で支援内容の共有、担当者を決定し、連携して支援を行っている。
- ・毎週異なる内容(運動課題や自由遊びの課題)をおこなったり、使用するツールを変えるようにして、活動プログラムが固定化しないようにしている。
- ・ミーティング時だけでなく、支援後に気になった点や共有したい点はすぐに職員間で共有を行っている。
- ・療育記録に必ず目標に基づいた結果を記載し、気になる点は教室共有欄に記入している。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・保護者の要望に応じて利用児童が通っている保育園や幼稚園などの関係機関との連携を取っている。
- ・小学校との間での情報共有は保護者から依頼された際に紙面で行っている。
- ・気になる点があればすぐに共有し、自宅や園での状況を聞くようにしている。

### ○保護者への説明責任等

- ・口頭だけでなく、文書で伝えるように努め、情報伝達の配慮を行っている。

### ○非常時等の対応

- ・アレルギー情報や持病について、基本情報シートに記入してもらい、保管している。
- ・ヒヤリハットについて事案があればその都度共有している。
- ・虐待防止研修を定期的に行っている。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

「少人数の為、広くはないと思うが、十分」「個別の際、子ども一人に対して職員一人ついてほしい。」「カメラで見れるのが個別活動のみの為、全体活動の時間も見たい。」との意見もいただき7割以上の方に現状に満足していると回答いただいた。

### ○適切な支援の提供

「子ども同士や職員との関わりを持つような工夫(遊び方や声かけ)を凝らしている。」「クリスマス等の季節行事も取り入れたりして、工夫されていた。」「いつも面白い内容で、子どもも楽しんで通えている。」との意見もいただき、8割以上の方に現状の支援体制に満足していると回答いただいた。

### ○保護者への説明等

8割以上の方に支援の内容等の説明について満足していると回答いただいた。一方、今年度から小集団でのフィードバックになったことにより「子どもの状況を伝えあうというよりは、伝えられて終わることが多い」との意見をいただいた。

### ○非常時等の対応

「通所して間もないため分からない」という意見もいただいたが、7割以上の方に、非常時等の対応、対策に満足していると回答いただいた。

### ○満足度

8割以上の方に支援等について満足していると回答いただいた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・利用者の課題や発達段階によってプログラムの内容を決めている為、その目的やゴールを細かく保護者に伝えていく。
- ・利用者や保護者に安心して利用いただけるよう、日々のフィードバック時や面談等の機会を活用し、保護者と利用者の情報共有を行い記録に残すことで職員間で共有を行っていく。
- ・ネジの緩み等の設備の点検を定期的に行い、安全な環境づくりを行う。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・日々のフィードバックや面談、月間レポートを通して保護者へ支援の様子を伝え、気になる点があった際は、個別で園や家庭での様子等を聞くようにしている。
- ・定期的にネジのゆるみ等の点検を行っている。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・今年度から取り入れた全体活動の中で、人間関係や社会性を養う活動を提供し、子ども同士でのやりとりを促している。
- ・毎日ミーティングを行い、職員全員が意見を出しながら活動プログラムの立案を行っている。

### ○改善点

- ・全体フィードバックになったことで、子どもの状況についての共有が一方的になっている為、帰りがけに個別に声掛けを行い、家庭や園での様子をヒヤリングすることを心掛ける。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・プログラムの全体像や流れを保護者により理解していただけるような伝え方を心がける。
- ・利用者や保護者に寄り添った支援、療育を提供するために、情報共有を徹底する。
- ・安心安全な教室の環境整備に努める。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・全体フィードバックの中で、支援の流れやその時の子どもの状況、支援内容の目的を適宜保護者に共有していく。
- ・個別面談実施の周知や掲示方法を検討し、家庭や園での様子について話しをする時間を設けるようにする。
- ・家庭や園の訪問を増やし、家庭や園との連携を深めていく。
- ・ネジの緩みなどの設備の点検や、書類の整備及び、訓練室、事務室の整理整頓を行う。

スマートキッズ